

「薬物治療と腎機能に関する研究」

研究へのご協力をお願い

名古屋大学腎臓内科では、薬物治療による腎障害や腎機能低下時の薬物投与方法に関する研究を実施しています。この研究は薬物による腎障害などの副作用を防ぐための大切な研究です。

名古屋大学医学部附属病院では以下に該当する方々の通院中の臨床検査データを匿名化の上、データセンターへ登録致します。該当する方で、データ登録を希望されない方は事務局に申し出てください。その場合、データ収集ならびにデータ登録は致しません。

<該当症例>

2023年12月31日までに名大病院で腎機能検査を実施した約10000名の患者。未成年者は除く。

<登録を希望されない方>

外来担当医、もしくは以下に示す本研究事務局へご連絡ください。

<本研究事務局>

本研究事務局：安田 宜成

名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科・循環器・腎臓・糖尿病（CKD）先進診療システム学寄附講座

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地 TEL 052-744-2192 FAX 052-744-2209

E-mail ckd@med.nagoya-u.ac.jp

<苦情等の連絡先>

名古屋大学医学部経営企画課 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地 TEL 052-744-2479

備考；※利益相反について この研究の分担者には、製薬企業がスポンサーである講座の職員が含まれています。そのため、利益相反があることとなります。しかし、この研究そのものにその製薬企業からの資金提供は受けていません。この研究の計画・実施・報告においては名古屋大学大学院医学系研究科 CKD システム学寄附講座が本試験を統括、運営します。また、名古屋大学大学院医学系研究科 CKD システム学寄附講座と前述の製薬会社の間には研究結果に影響を及ぼすような関係は存在いたしません。従って、一部研究分担者が所属する寄附講座のスポンサー企業の意向に、影響されない研究実施体制が確立されています。この点において、この試験にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。

※利益相反とは、外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念される事態のこと。